

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | 大原情報デザインアート専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 大原学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|----------|-----------------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 工業専門課程 | 情報工学科（2年制） | 夜・通信 | 510 時間 | 160 時間 | |
| | メディア情報学科（2年制） | 夜・通信 | 180 時間 | 160 時間 | |
| | ネットワーク情報学科（2年制） | 夜・通信 | 330 時間 | 160 時間 | |
| | 情報技術学科（1年制） | 夜・通信 | 240 時間 | 80 時間 | |
| | 情報技術学科（1年制） | 夜・通信 | 210 時間 | 80 時間 | |
| 商業実務専門課程 | 情報ビジネス学科（2年制） | 夜・通信 | 180 時間 | 160 時間 | |
| | 情報ビジネス学科（1年制） | 夜・通信 | 240 時間 | 80 時間 | |
| | 情報ビジネス学科（1年制） | 夜・通信 | 180 時間 | 80 時間 | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|--|
| ホームページにて公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/ |
|--|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | 大原情報デザインアート専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 大原学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|-----------------------------------|------------------------|-----------------------|
| 非常勤 | 司法書士事務所 所長 | 2019.4.1～ 2023.3.31 | 法人運営における法 務的な検証、管理 |
| 非常勤 | Web デザイン・システム 開発・印刷関連企業 代 表 | 2019.4.1～ 2023.3.31 | 学生募集、教材開発 への助言 |
| 非常勤 | 前：不動産関連企業 代表 | 2019.4.1～ 2023.3.31 | 校舎等学習環境の 整備への助言 |
| (備考) | | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | 大原情報デザインアート専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 大原学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | | | | |
|---|--|----------|------|---------|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>年2回実施される教育課程編成会議において、現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員により改善検討を行い決定する。毎年、上記の手続きを経て、授業計画(シラバス)を改善検討し、3月に公表する。</p> | | | | |
| 授業計画書の公表方法 | <p>ホームページにて公表</p> <p>https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p> | | | |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により行う。</p> <p>2. 学業成績の判定および成績証明書の表記は下記のとおりとする。</p> | | | | |
| | 判定 | 評価点 | 成績評価 | 成績証明書表記 |
| | 合格 | 100点～90点 | 秀 | 秀 |
| | | 89点～80点 | 優 | 優 |
| | | 79点～60点 | 良 | 良 |
| | | 59点～50点 | 可 | 可 |
| | 不合格 | 49点以下 | 不可 | 非表示 |
| <p>※当該授業科目ごとに定める出席日数を満たしていない場合や授業内に行う効果測定、課題等の提出が行われていない場合は、「不可」となることがある。</p> | | | | |

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

1. 成績評価における客観的な指数として、GPA (Grade Point Average) を用いる。
2. 科目ごとの成績評価に対する GP (Grade Point) は次のとおり。

| 成績評価 | GP | 評価点 | 備考 |
|------|----|----------|-----|
| 秀 | 5 | 100点～90点 | |
| 優 | 4 | 89点～80点 | |
| 良 | 3 | 79点～60点 | |
| 可 | 2 | 59点～50点 | |
| 不可 | 0 | 49点以下 | |
| 認定 | — | — | 対象外 |

3. GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{(科目の単位数} \times \text{当該科目で付与された GP) の合計}}{\text{履修科目の単位数の合計}}$$

※小数点以下第2位四捨五入

| | |
|------------------|---|
| 客観的な指標の算出方法の公表方法 | ホームページにて公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/ |
|------------------|---|

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1. 卒業の認定は、学科ごとに定める修業年限以上在学し、学科ごとに定める授業時間数以上履修かつその該当する所定の授業科目及び単位数を習得していること。

| 学科 | 修業年限 | 授業時間数 |
|--------------|------|---------|
| 情報工学科 | 2年 | 1,700時間 |
| メディア情報学科 | 2年 | 1,700時間 |
| ネットワーク情報学科 | 2年 | 1,700時間 |
| 情報技術学科 | 1年 | 800時間 |
| 情報技術学科(夜間) | 1年 | 800時間 |
| 情報ビジネス学科 | 2年 | 1,700時間 |
| 情報ビジネス学科 | 1年 | 800時間 |
| 情報ビジネス学科(夜間) | 1年 | 800時間 |

2. 卒業の認定は、卒業判定委員会において、上記の基準に基づいて判定し、審査に合格した者について校長が行う。

| | |
|------------------|---|
| 卒業の認定に関する方針の公表方法 | ホームページにて公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/ |
|------------------|---|

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|-----------------|
| 学校名 | 大原情報デザインアート専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人 大原学園 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf |
| 財産目録 | https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf |
| 事業報告書 | https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf |
| 監事による監査報告（書） | https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|---------------------|--------------------|---------------------|------------------|------------------|
| 工業 | | 工業専門課程 | 情報工学科 | ○ | — | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1700 単位時間/単位 | 1330 単位時間 /単位 | 980 単位時間 /単位 | 3090 単位時間 /単位 | - 単位時間 /単位 | - 単位時間 /単位 |
| | | | 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 160人 | | 93人 | 0人 | 3人 | 1人 | 4人 | |

| | | | |
|--|----------|------|---------|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | |
| （概要） 年2回実施される教育課程編成会議において、現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員により改善検討を行い決定する。毎年、上記の手続きを経て、授業計画（シラバス）を改善検討し、3月に公表する。 | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| （概要） | | | |
| 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により行う。 | | | |
| 2. 学業成績の判定および成績証明書の表記は下記のとおりとする。 | | | |
| 判定 | 評価点 | 成績評価 | 成績証明書表記 |
| 合格 | 100点～90点 | 秀 | 秀 |
| | 89点～80点 | 優 | 優 |
| | 79点～60点 | 良 | 良 |
| | 59点～50点 | 可 | 可 |
| 不合格 | 49点以下 | 不可 | 非表示 |

| |
|---|
| <p>※当該授業科目ごとに定める出席日数を満たしていない場合や授業内に行う効果測定、課題等の提出が行われていない場合は、「不可」となることがある。</p> |
| <p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>1. 進級の認定は、各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査を行う。</p> <p>2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、学科の定める授業時間以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を習得し、最終学年の終わりに行われる卒業審査に合格した者。</p> |
| <p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制をとり、出席状況や学習態度についても保護者と連携し、学生が社会で即戦力として活躍できるよう専門知識（と技能）を習得させている。</p> |

| | | | |
|---|--------------|-------------------|-------------|
| <p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p> | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 45人 (100%) | 9人 (20%) | 35人 (77.8%) | 1人 (2%) |
| <p>(主な就職、業界等)</p> <p>システムデザイン(株)、(株)さくらケーシーエス、(株)トラストテック、(株)パナR&D、日本流通システム(株)、日本ラッド(株)、トッパン・フォームズオペレーション(株)、旭情報サービス(株)、エスアイエス・テクノサービス(株)、(株)共栄システムズ、(株)イオンフォレスト</p> | | | |
| <p>(就職指導内容)</p> <p>業界、会社研究等のサポートおよび、面接トレーニング、履歴書作成指導 等</p> | | | |
| <p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>情報処理技術者試験 各種</p> | | | |
| <p>(備考) (任意記載事項)</p> | | | |

| | | |
|--|----------------|------|
| <p>中途退学の現状</p> | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 95人 | 6人 | 6.3% |
| <p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的問題</p> | | |
| <p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>定期的な個別面談の実施および、経済的理由の場合の相談窓口を設けるなど、あらゆる可能性を提示した進路アドバイスをを行い学習継続への対応を行っている。</p> | | |

| | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|-------------------|---------------------|---------------------|------------------|------------------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | メディア情報学科 | ○ | — | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1700 単位時間/単位 | 90 単位時間 /単位 | 2190 単位時間 /単位 | 8910 単位時間 /単位 | - 単位時間 /単位 | - 単位時間 /単位 |
| | | | 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 80人 | | 85人 | 5人 | 3人 | 1人 | 5人 | |

| | | | |
|--|----|----------|------|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | |
| （概要） 年2回実施される教育課程編成会議において、現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員により改善検討を行い決定する。毎年、上記の手続きを経て、授業計画（シラバス）を改善検討し、3月に公表する。 | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| （概要） | | | |
| 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により行う。 | | | |
| 2. 学業成績の判定および成績証明書の表記は下記のとおりとする。 | | | |
| | 判定 | 評価点 | 成績評価 |
| 合格 | | 100点～90点 | 秀 |
| | | 89点～80点 | 優 |
| | | 79点～60点 | 良 |
| | | 59点～50点 | 可 |
| 不合格 | | 49点以下 | 不可 |
| ※当該授業科目ごとに定める出席日数を満たしていない場合や授業内に行う効果測定、課題等の提出が行われていない場合は、「不可」となることがある。 | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | |
| （概要） | | | |
| 1. 進級の認定は、各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査を行う。 | | | |
| 2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、学科の定める授業時間以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を習得し、最終学年の終わりに行われる卒業審査に合格した者。 | | | |
| 学修支援等 | | | |
| （概要） | | | |
| クラス担任制をとり、出席状況や学習態度についても保護者と連携し、学生が社会で即戦力として活躍できるよう専門知識（と技能）を習得させている。 | | | |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|----------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 45人 (100%) | 6人 (13.3%) | 39人 (86.7%) | 0人 (%) |
| （主な就職、業界等） ナツメアタリ(株)、(有) キャンプライズ、(株)スギタプリディア、(株)東具、 (株)グラフィックウェイブ、株式会社スリースターファクトリー、(株)エンプレイ、 (株)エキスパートソフトウェア、(株)コンバートコミュニケーションズ | | | |
| （就職指導内容） 業界、会社研究等のサポートおよび、面接トレーニング、履歴書作成指導 等 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級、声優検定2・3級 各種 | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 94人 | 4人 | 4.3% |
| （中途退学の主な理由） 経済的事由、進路変更等 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談の実施および、経済的理由の場合の相談窓口を設けるなど、あらゆる可能性を提示した進路アドバイスをを行い学習継続への対応を行っている。 | | |

| | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|--------------------|--------------------|---------------------|------------------|------------------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | ネットワーク情報学科 | ○ | — | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1700 単位時間/単位 | 180 単位時間 /単位 | 750 単位時間 /単位 | 2010 単位時間 /単位 | - 単位時間 /単位 | - 単位時間 /単位 |
| | | | 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 80人 | | 82人 | 0人 | 3人 | 1人 | 4人 | |

| | | | |
|--|----|----------|------|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | |
| （概要） 年2回実施される教育課程編成会議において、現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員により改善検討を行い決定する。毎年、上記の手続きを経て、授業計画（シラバス）を改善検討し、3月に公表する。 | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| （概要） | | | |
| 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により行う。 | | | |
| 2. 学業成績の判定および成績証明書の表記は下記のとおりとする。 | | | |
| | 判定 | 評価点 | 成績評価 |
| 合格 | | 100点～90点 | 秀 |
| | | 89点～80点 | 優 |
| | | 79点～60点 | 良 |
| | | 59点～50点 | 可 |
| 不合格 | | 49点以下 | 不可 |
| ※当該授業科目ごとに定める出席日数を満たしていない場合や授業内に行う効果測定、課題等の提出が行われていない場合は、「不可」となることがある。 | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | |
| （概要） | | | |
| 1. 進級の認定は、各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査を行う。 | | | |
| 2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、学科の定める授業時間以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を習得し、最終学年の終わりに行われる卒業審査に合格した者。 | | | |
| 学修支援等 | | | |
| （概要） | | | |
| クラス担任制をとり、出席状況や学習態度についても保護者と連携し、学生が社会で即戦力として活躍できるよう専門知識（と技能）を習得させている。 | | | |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|---------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 32人 (100%) | 1人 (3.1%) | 31人 (96.9%) | 0人 (%) |
| （主な就職、業界等） 富士ソフト(株)、(株)ビーネックステクノロジーズ、日本流通システム(株)、(株)平山等 | | | |
| （就職指導内容） 業界、会社研究等のサポートおよび、面接トレーニング、履歴書作成指導 等 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験 各種 | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 77人 | 4人 | 5.2% |
| （中途退学の主な理由） 記載なし | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談の実施および、経済的理由の場合の相談窓口を設けるなど、あらゆる可能性を提示した進路アドバイスをを行い学習継続への対応を行っている。 | | |

| | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|--------------------|--------------------|---------------------|------------------|------------------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 情報技術学科 | — | — | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 1年 | 昼 | 800 単位時間/単位 | 460 単位時間 /単位 | 740 単位時間 /単位 | 1740 単位時間 /単位 | - 単位時間 /単位 | - 単位時間 /単位 |
| | | | 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人 | | 13人 | 0人 | 3人 | 0人 | 3人 | |

| | | | |
|---|----|----------|------|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | |
| <p>（概要）</p> <p>年2回実施される教育課程編成会議において、現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員により改善検討を行い決定する。毎年、上記の手続きを経て、授業計画（シラバス）を改善検討し、3月に公表する。</p> | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| <p>（概要）</p> <p>1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により行う。</p> <p>2. 学業成績の判定および成績証明書の表記は下記のとおりとする。</p> | | | |
| | 判定 | 評価点 | 成績評価 |
| 合格 | | 100点～90点 | 秀 |
| | | 89点～80点 | 優 |
| | | 79点～60点 | 良 |
| | | 59点～50点 | 可 |
| 不合格 | | 49点以下 | 不可 |
| <p>※当該授業科目ごとに定める出席日数を満たしていない場合や授業内に行う効果測定、課題等の提出が行われていない場合は、「不可」となることがある。</p> | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | |
| <p>（概要）</p> <p>1. 進級の認定は、各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査を行う。</p> <p>2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、学科の定める授業時間以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を習得し、最終学年の終わりに行われる卒業審査に合格した者。</p> | | | |
| 学修支援等 | | | |
| <p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、出席状況や学習態度についても保護者と連携し、学生が社会で即戦力として活躍できるよう専門知識（と技能）を習得させている。</p> | | | |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 13人 (100%) | 0人 (0%) | 13人 (100%) | 0人 (0%) |
| （主な就職、業界等） 情報処理業界 | | | |
| （就職指導内容） 業界、会社研究等のサポートおよび、面接トレーニング、履歴書作成指導 等 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験 各種 | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 13人 | 0人 | 0.0% |
| （中途退学の主な理由） 経済的事由 | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談の実施および、経済的理由の場合の相談窓口を設けるなど、あらゆる可能性を提示した進路アドバイスをを行い学習継続への対応を行っている。 | | |

| | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|------------------|-------------------|---------------------|------------------|------------------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業 | | 工業専門課程 | 情報技術学科 | — | — | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 1年 | 夜 | 800 単位時間/単位 | 0 単位時間 /単位 | 60 単位時間 /単位 | 3900 単位時間 /単位 | — 単位時間 /単位 | — 単位時間 /単位 |
| | | | 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人 | | 9人 | 0人 | 1人 | 1人 | 2人 | |

| | | | |
|---|----|----------|------|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | |
| <p>（概要）</p> <p>年2回実施される教育課程編成会議において、現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員により改善検討を行い決定する。毎年、上記の手続きを経て、授業計画（シラバス）を改善検討し、3月に公表する。</p> | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| <p>（概要）</p> <p>1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により行う。</p> <p>2. 学業成績の判定および成績証明書の表記は下記のとおりとする。</p> | | | |
| | 判定 | 評価点 | 成績評価 |
| 合格 | | 100点～90点 | 秀 |
| | | 89点～80点 | 優 |
| | | 79点～60点 | 良 |
| | | 59点～50点 | 可 |
| 不合格 | | 49点以下 | 不可 |
| <p>※当該授業科目ごとに定める出席日数を満たしていない場合や授業内に行う効果測定、課題等の提出が行われていない場合は、「不可」となることがある。</p> | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | |
| <p>（概要）</p> <p>1. 進級の認定は、各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査を行う。</p> <p>2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、学科の定める授業時間以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を習得し、最終学年の終わりに行われる卒業審査に合格した者。</p> | | | |
| 学修支援等 | | | |
| <p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、出席状況や学習態度についても保護者と連携し、学生が社会で即戦力として活躍できるよう専門知識（と技能）を習得させている。</p> | | | |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|---|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 9人 (100%) | 0人 (0%) | 9人 (100%) | 0人 (0%) |
| （主な就職、業界等） 情報処理業界 | | | |
| （就職指導内容） 業界、会社研究等のサポートおよび、面接トレーニング、履歴書作成指導 等 | | | |
| （主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験 各種 | | | |
| （備考）（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 12人 | 0人 | 0% |
| （中途退学の主な理由） 記載なし | | |
| （中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談の実施および、経済的理由の場合の相談窓口を設けるなど、あらゆる可能性を提示した進路アドバイスをを行い学習継続への対応を行っている。 | | |

| | | | | | | | |
|--------|----------|-----------------------|-----------------|-----------------|---------|---------|---------|
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | | |
| 商業実務 | 商業実務専門課程 | 情報ビジネス学科 | ○ | — | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼 | 1700 単位時間/単位 | 1020 単位時間/単位 | 1020 単位時間/単位 | 単位時間/単位 | 単位時間/単位 | 単位時間/単位 |
| | | | 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 80人 | 71人 | 71人 | 2人 | 1人 | 3人 | | |

| カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------|------|---------|---------|----|----------|---|---|---------|---|---|---------|---|---|---------|---|---|-----|-------|----|-----|
| (概要) 年2回実施される教育課程編成会議において、現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員により改善検討を行い決定する。毎年、上記の手続きを経て、授業計画(シラバス)を改善検討し、3月に公表する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (概要) 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により行う。 2. 学業成績の判定および成績証明書の表記は下記のとおりとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定</th> <th>評価点</th> <th>成績評価</th> <th>成績証明書表記</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>100点～90点</td> <td>秀</td> <td>秀</td> </tr> <tr> <td>89点～80点</td> <td>優</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>79点～60点</td> <td>良</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>59点～50点</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>不合格</td> <td>49点以下</td> <td>不可</td> <td>非表示</td> </tr> </tbody> </table> | 判定 | 評価点 | 成績評価 | 成績証明書表記 | 合格 | 100点～90点 | 秀 | 秀 | 89点～80点 | 優 | 優 | 79点～60点 | 良 | 良 | 59点～50点 | 可 | 可 | 不合格 | 49点以下 | 不可 | 非表示 |
| 判定 | 評価点 | 成績評価 | 成績証明書表記 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合格 | 100点～90点 | 秀 | 秀 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 89点～80点 | 優 | 優 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 79点～60点 | 良 | 良 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 59点～50点 | 可 | 可 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不合格 | 49点以下 | 不可 | 非表示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※当該授業科目ごとに定める出席日数を満たしていない場合や授業内に行う効果測定、課題等の提出が行われていない場合は、「不可」となることがある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (概要) 1. 進級の認定は、各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査を行う。 2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、学科の定める授業時間以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を習得し、最終学年の終わりに行われる卒業審査に合格した者。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学修支援等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (概要) クラス担任制をとり、出席状況や学習態度についても保護者と連携し、学生が社会で即戦力として活躍できるよう専門知識(と技能)を習得させている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|--------------|-------------------|---------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 24人 (100%) | 0人 (0.0%) | 19人 (79.2%) | 5人 (20.8%) |
| (主な就職、業界等) ホテル業界 | | | |
| (就職指導内容) 業界、会社研究等のサポートおよび、面接トレーニング、履歴書作成指導 等 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 日本語能力試験（JLPT）、ホテルビジネス実務、マナー・プロトコール検定 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|-------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 64人 | 12人 | 18.8% |
| (中途退学の主な理由) 就職決定、経済的理由、進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談の実施および、経済的理由の場合の相談窓口を設けるなど、あらゆる可能性を提示した進路アドバイスをを行い学習継続への対応を行っている | | |

| | | | | | | | |
|--------|----|-----------------------|----------------|----------------|----------------|--------------|---------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 商業実務 | | 商業実務専門課程 | 情報ビジネス学科 | — | — | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 1年 | 昼 | 800 単位時間/単位 | 460 単位時間/単位 | 740 単位時間/単位 | 870 単位時間/単位 | - 単位時間/単位 | 単位時間/単位 |
| | | | 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人 | | 21人 | 0人 | 3人 | 0人 | 3人 | |

| | | | |
|--|----|----------|------|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | |
| （概要） 年2回実施される教育課程編成会議において、現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員により改善検討を行い決定する。毎年、上記の手続きを経て、授業計画（シラバス）を改善検討し、3月に公表する。 | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| （概要） | | | |
| 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により行う。 | | | |
| 2. 学業成績の判定および成績証明書の表記は下記のとおりとする。 | | | |
| | 判定 | 評価点 | 成績評価 |
| 合格 | | 100点～90点 | 秀 |
| | | 89点～80点 | 優 |
| | | 79点～60点 | 良 |
| | | 59点～50点 | 可 |
| 不合格 | | 49点以下 | 不可 |
| ※当該授業科目ごとに定める出席日数を満たしていない場合や授業内に行う効果測定、課題等の提出が行われていない場合は、「不可」となることがある。 | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | |
| （概要） | | | |
| 1. 進級の認定は、各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査を行う。 | | | |
| 2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、学科の定める授業時間以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を習得し、最終学年の終わりに行われる卒業審査に合格した者。 | | | |
| 学修支援等 | | | |
| （概要） クラス担任制をとり、出席状況や学習態度についても保護者と連携し、学生が社会で即戦力として活躍できるよう専門知識（と技能）を習得させている。 | | | |

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|---|------------|-------------------|------------|
| 21人 (100%) | 0人 (0%) | 21人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) | | | |
| (就職指導内容) 業界、会社研究等のサポートおよび、面接トレーニング、履歴書作成指導 等 | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) 情報処理技術者試験 各種 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 22人 | 0人 | 0.0% |
| (中途退学の主な理由) 経済的事由 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談の実施および、経済的理由の場合の相談窓口を設けるなど、あらゆる可能性を提示した進路アドバイスをを行い学習継続への対応を行っている。 | | |

| | | | | | | | |
|--------|----|-----------------------|----------------|----------------|----------------|--------------|--------------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 商業実務 | | 商業実務専門課程 | 情報ビジネス学科 | — | — | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 1年 | 夜 | 800 単位時間/単位 | 180 単位時間/単位 | 600 単位時間/単位 | 240 単位時間/単位 | — 単位時間/単位 | — 単位時間/単位 |
| | | | 単位時間/単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 40人 | | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | |

| | | | |
|--|----|----------|------|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | |
| （概要） 年2回実施される教育課程編成会議において、現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員により改善検討を行い決定する。毎年、上記の手続きを経て、授業計画（シラバス）を改善検討し、3月に公表する。 | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | |
| （概要） | | | |
| 1. 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により行う。 | | | |
| 2. 学業成績の判定および成績証明書の表記は下記のとおりとする。 | | | |
| | 判定 | 評価点 | 成績評価 |
| 合格 | | 100点～90点 | 秀 |
| | | 89点～80点 | 優 |
| | | 79点～60点 | 良 |
| | | 59点～50点 | 可 |
| 不合格 | | 49点以下 | 不可 |
| ※当該授業科目ごとに定める出席日数を満たしていない場合や授業内に行う効果測定、課題等の提出が行われていない場合は、「不可」となることがある。 | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | |
| （概要） | | | |
| 1. 進級の認定は、各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査を行う。 | | | |
| 2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、学科の定める授業時間以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を習得し、最終学年の終わりに行われる卒業審査に合格した者。 | | | |
| 学修支援等 | | | |
| （概要） クラス担任制をとり、出席状況や学習態度についても保護者と連携し、学生が社会で即戦力として活躍できるよう専門知識（と技能）を習得させている。 | | | |

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|---|-------------|-------------------|-------------|
| 0人 (100%) | 0人 (0%) | 0人 (0%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 該当者なし | | | |
| (就職指導内容) 業界、会社研究等のサポートおよび、面接トレーニング、履歴書作成指導 等 | | | |
| (主な学修成果 (資格・検定等)) 情報処理技術者試験 各種 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---------------------|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 0人 | 0人 | 0% |
| (中途退学の主な理由) 対象なし | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) | |
|--|----------|-------------|----------|------------------------------|--|
| 情報工学科 (2年制) | 200,000円 | 700,000円 | 420,000円 | その他欄内訳 教材費、維持費、実習・演習費等を含む | |
| メディア情報学科 (2年制) | | | | | |
| ネットワーク情報学科 (2年制) | | | | | |
| 情報ビジネス学科 (2年制) | | | | | |
| 情報技術学科 (1年制昼間) | | | | | |
| 情報ビジネス学科 (1年制昼間) | | | | | |
| 情報技術学科 (1年制夜間) | 100,000円 | 400,000円 | 180,000円 | | |
| 情報ビジネス学科 (1年制夜間) | | | | | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | | |
| 学費支援制度 奨学生試験結果や取得している資格等に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除 ・試験による特別奨学生 ・取得資格による特別奨学生 ・クラブ特別奨学生 | | | | | |

b) 学校評価

| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/ | | |
|---|------------------------|-------|
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) | | |
| 7月～8月頃に学校関係者評価委員会を開催し、学校運営、教育活動等(教育課程、進路指導など)につき自己点検・評価を行い、評価結果についてはHPに掲載公表し周知するとともに、学校関係者評価委員からの各種アドバイスにつき校長の責任のもと学校運営や教育活動の改善への参考としている。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 株式会社オーティエス | 令和2年4月1日 ～令和4年3月31日 | 企業等委員 |
| 株式会社MC企画 | 令和2年4月1日 ～令和4年3月31日 | 企業等委員 |
| 株式会社ディープラス | 令和2年4月1日 ～令和4年3月31日 | 企業等委員 |
| 株式会社プロモ | 令和2年4月1日 ～令和4年3月31日 | 企業等委員 |

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/>

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/>